

専門家アンケートの実施方法について（案）

1. アンケートの目的

JB02 における評価の信頼性の向上や意図するメッセージの明確化などを目的として、検討委員会の判断に加え、広く専門家の意見をアンケートにより聴取する。

2. アンケートの内容

基本方針

生態系と生態系サービス・人間の福利の関係を主たるスコープとし、その 1950 年代以降現在に至るまでの変化（増加・減少）の評価や対策の必要性などについて、広く専門家の意見を集める。その際、JB02 の評価結果（30 ページ程度を想定）を一読いただいた上で回答を求めることが理想的であるが、この場合、回答時間の長さから回答率が低くなることが懸念される。そこで、アンケートの設問内容として、以下に示す基本方針を設定する。

JB0 策定時の経緯	<p>以下の 2 通りの調査を実施していた。</p> <p>① 有識者アンケート：過去 50 年間に於いて、我が国の生物多様性の危機をもたらしたと考えられる主要な人間活動による負の要因を整理することを目的として、<u>考えられる影響要因一覧の中から主要な要因と考えられるものを 5 個まで選択し</u>、その理由を具体的な事例を挙げて自由記述してもらった。</p> <p>② 有識者意見照会：総合評価報告書骨子（案）について、評価に関する記述の妥当性、評価の根拠となるデータとしてより適切なものの有無等について、科学的・専門的立場からの意見を得るため、郵送による意見照会を実施した。</p>
------------	---



JB02 における方針	<p>JB0 策定時と同様に、以下の 2 つの調査を実施することとする。ただし、2 度に分けて調査を行うだけの時間的余裕はないため、1 度のアンケートによって実施することとする。</p> <p>① 有識者アンケート：特に劣化している生態系サービスについて意見を頂く。</p> <p>② 有識者意見照会：本検討会で提示した「評価結果」をもとに、評価の妥当性、評価の根拠や説明性の向上に資する研究事例に関する情報を頂く。</p>
-------------	--

アンケート調査の構成

これを可能にするため、JB02 ではアンケートを以下の 2 部構成として実施する。

タイトル	内容	条件等
第 1 部 特に劣化している生態系サービスについてのアンケート	【選択形式】 <ul style="list-style-type: none">● 事前に提示された選択肢の中から、被調査者が特に重要と考えている生態系サービス、変化していると考えている生態系サービスを選択する。	後述の学会の委員・役員に対して各学会のメーリングリストを活用して送付し、ウェブ上で回答を頂く。
第 2 部 生態系サービス及び人間の福利に関する評価に対する意見照会	【記述形式】 <ul style="list-style-type: none">● 本検討会で提示した「資料 3_生態系サービス及び人間の福利に関する評価結果」をご覧いただいたうえで、評価の妥当性について具体的な意見を頂く。● また、キーメッセージをより分かりやすく伝えるための研究事例に関する情報を頂く。	第 2 部は希望者にのみ回答頂く形式とする。ただし、回答率を上げるためのインセンティブとして、所属・氏名を承り、総合評価報告書公表時に「協力者」として掲載する。

3. アンケートの募集対象

アンケートの目的から、生態系サービスと人間の福利に関する指標や評価にある程度詳しい専門家からの意見を集めることとする。そこで、アンケート募集の対象（専門家）は表 1 に示す学会の役員等とする。

専門家を募る学会としては、扱うテーマや領域、生態系の区分等から、生態系サービスや人間の福利に関する指標設定や評価結果への有益な意見が期待できるものを選定する。

4. アンケートの実施方法

専門家へのアンケートの依頼については、以下の方法が考えられる。

- ・各学会等の会長宛てで、各学会事務局に依頼文書（環境省名）を送付し、了解が得られた学会については、事務局に各学会の役員等の名簿（メールアドレス等が含まれるもの）の提供を依頼する。得られた名簿に基づき、役員等にアンケートを送付する。
- ・名簿を提供されない学会等については、事務局から専門家（役員等）へ依頼文書をメール転送（事務局の労力軽減のため）していただくように依頼する。
- ・専門家の属性としては、所属学会、研究分野、年齢層、勤務先等を求めることとする。

- ・各専門家に依頼する際には、必要な資料のダウンロード先及び回答方法を案内する。
- ・回答はウェブサイトからの回答を基本とする。
- ・個人情報の扱いは厳重に行うこととし、その旨回答者にも伝える。
- ・アンケートのウェブサービスの利用については、セキュリティ面で問題が無いことを確認する。(依頼文書にログイン ID やパスワードを記載する。)
- ・アンケートの実施時期は 10 月中旬から 11 月中旬の 1 か月程度を想定する。

表 1 専門家の意見を求める学会等

学会の分類等	候補となる学会名
大きな枠組みで研究分野との関連性が高い	生態学会、土木学会、応用生態工学会、日本景観生態学会、造園学会、緑化工学会、生態系工学研究会、水文・水資源学会、砂防学会、生態工学会、国際開発学会等
各生態系の特性について関連性が高い	汽水域研究会、日本湿地学会、サンゴ礁学会、日本海洋学会、日本農学会、農村計画学会、日本森林学会、応用森林学会、日本水産学会、日本水産工学会、水産海洋学会、日本沿岸域学会、日本地下水学会、水資源・環境学会、日本建築学会 等
人間の福利、経済評価等に焦点を置く	環境経済・政策学会、環境法政策学会、環境社会学会 人類働態学会 等
その他	IPBES の活動への参画者、国立環境研究所

有識者アンケート案

※ 下記の内容に対して回答できるよう、ウェブアンケートフォームを構築する

はじめに

必要最低限の情報として、以下の事項を記述

1. JB02 実施の背景
2. 生態系サービス及び人間の福利に関する簡単な説明
3. 本アンケートの全体的な構成について
4. 本アンケートに関する留意事項等について

属性情報の入力

以下の情報についてお答えください

ご所属の学会	
専門研究領域	
年齢	20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
勤務先等	大学・国公立研究所・民間会社・NGO・行政機関・その他（ ）

第1部 過去50年間における生態系サービスの変化等について

問1) 重要な生態系サービスについて

以下に挙げる我が国の生態系サービスのうち、人間の福利に対する影響という観点から、あなたが重要であると考える我が国の生態系サービスはどれですか。以下の中から該当するものを5つ選択してください。

項目		重要と考える生態系サービス
供給サービス	米	
	畑作物	
	特用林産物	
	畜産	
	海面漁業・水産物 内水面漁業	
	淡水	
	木材	
	原材料（繊維等）	
	遺伝資源	
調整サービス	大気浄化	
	気候調節	

	水量調整	
	水質浄化	
	土壌侵食制御	
	地力の維持	
	花粉媒介	
	洪水制御	
	病虫害抑制	
	表層崩壊防止	
	津波緩和	
文化サービス	宗教・祭り	
	教育	
	景観	
	伝統芸能	
	旅行・観光・レクリ エーション	

問2) 過去50年間に於ける生態系サービスの変化について

以下に挙げる我が国の生態系サービスが、過去50年間どのように変化してきたと考えているか、あなたの考えをお聞かせください。

各生態系サービスに対し、該当するものを選択してください。

項目		生態系サービスの変化の傾向（過去50年間） に関するあなたの考え
供給サービス	米	減少・変化なし・増加
	畑作物	減少・変化なし・増加
	特用林産物	減少・変化なし・増加
	畜産	減少・変化なし・増加
	海面漁業・水産物 内水面漁業	減少・変化なし・増加
	淡水	減少・変化なし・増加
	木材	減少・変化なし・増加
	原材料（繊維等）	減少・変化なし・増加
	遺伝資源	減少・変化なし・増加
調整サービス	大気浄化	減少・変化なし・増加
	気候調節	減少・変化なし・増加
	水量調整	減少・変化なし・増加
	水質浄化	減少・変化なし・増加

	土壌侵食制御	減少・変化なし・増加
	地力の維持	減少・変化なし・増加
	花粉媒介	減少・変化なし・増加
	洪水制御	減少・変化なし・増加
	病虫害抑制	減少・変化なし・増加
	表層崩壊防止	減少・変化なし・増加
	津波緩和	減少・変化なし・増加
文化サービス	宗教・祭り	減少・変化なし・増加
	教育	減少・変化なし・増加
	景観	減少・変化なし・増加
	伝統芸能	減少・変化なし・増加
	旅行・観光・レクリエーション	減少・変化なし・増加

第2部 生態系サービス及び人間の福利に関する評価結果の妥当性等について

当該検討委員会では既に評価作業を進めており、2015年〇月〇日段階で、評価結果を総合的にまとめた「生態系サービス及び人間の福利に関する評価結果」を作成したところです。

そこで、ご協力を頂ける場合には、以下に掲載されている「生態系サービス及び人間の福利に関する評価結果」(〇〇頁)をご覧いただいたうえで、記載内容に対してあなたの見解と相違がないか、ご検討を頂きたく存じます。もし相違がある場合には、あなたのお考えも合せてお聞かせください。

なお、ご協力を頂き、かつご希望をされる場合には、総合評価報告書を公表する際、評価への協力者として同時に公表をさせていただきますので、ご所属、役職、ご氏名をご記入ください。

ご所属	
役職	
ご氏名	

問) 評価結果に対するご指摘・ご意見について

生態系と生態系サービス・人間の福利に関する総合評価について、評価の結果はあなたの見解と相違ないですか。もし異なるならば、あなたの考えをお聞かせください。

また、評価の際に参考となる研究事例等があればご教授ください。

評価項目		相違がある場合に	理由(自由記載)	参考となる事例等
<ul style="list-style-type: none"> ● 人間の福利に関する評価 ● 生態系サービスに関する評価 		○		
豊かな生活の基本資材				
人間の福利 (豊かな生活の基本資材)	所得			
	雇用			
	食料(米)			
	食料(米以外)			
	水			
	住居			
	衣類			
生態系サー	米			

	ビス (供給サービス)	畑作物				
		畜産				
		特用林産物				
		内水面漁業				
		海面漁業・水産物				
		淡水				
		繭・養蚕				
		木材				
	調整サービス	水量調整				
		地力の維持				
		花粉媒介				
		病虫害抑制				
	海外依存	食料輸入率				
		原材料輸入率				
		フットプリント				
	ディスサービス	鳥獣による農作物被害				
健康						
	人間の福利 (健康)	栄養摂取				
		清浄な空気及び水				
		精神的な安らぎ				
	供給サービス	食料、				
		薬・医薬品				
	調整サービス	大気浄化				
		気候調節				
		水質浄化				
		病虫害抑制				
	文化サービス	旅行・観光・レクリエーション				
	ディスサービス	花粉症・アレルギー疾患の患者の発生				
	安全					
		調整サービス	土壌侵食制御			
洪水制御						
表層崩壊防止						

		津波緩和			
		野生生物による人的被害			
良好な社会関係					
	文化サービス	宗教			
		祭り			
		教育			
		景観			
		伝統芸能			